

磐田市立総合病院

## ALSO プロバイダーコース

**Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)**とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリ・ケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもある。1991年に ACLS と ATLS に基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人が ALSO を考案した。1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられている。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78%が ALSO をプログラムに導入している。さらに ALSO コースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上が ALSO コースを完了した。

コースは、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）がコースに含まれている。ALSO は LDR における産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者-医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。プロバイダーコースは二日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つ。少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の5つ。オプション・ワークショップ：会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つ。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができる。プロバイダーコースの教官になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約400名が ALSO コースを修了した。参加者は産婦人科医、プライマリ・ケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近未来の日本の周

産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO であり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

ALSO-Japan

### 磐田 ALSO プロバイダーコース

主催：静岡家庭医養成プログラム

共催：浜松医科大学地域家庭医療学講座

開催日時：2017年2月18日（土）～19日（日）

開催場所：磐田市立総合病院

〒438-0002 静岡県磐田市大久保5 1 2-3

電話：0538-38-5000

定員：20名

参加費：42,000円

### 【申し込み方法】

下記①～⑪を記載の上、下記 Email アドレスまでお申し込み下さい。

メールの件名に「磐田 ALSO 申し込み」とお書きください。

①名前、②ふりがな、③ローマ字表記、④所属病院、⑤診療科、⑥職業、⑦職種、⑧卒業年度（西暦）、⑨現住所（郵便番号含む）、⑩携帯番号（当日連絡がつくもの）、⑪メールアドレス（PC アドレスのみ）

### 【申し込み先】

浜松医科大学地域家庭医療学講座 鈴木圭子

E-mail：skei@hama-med.ac.jp

**申し込み締め切り：2016年12月22日**

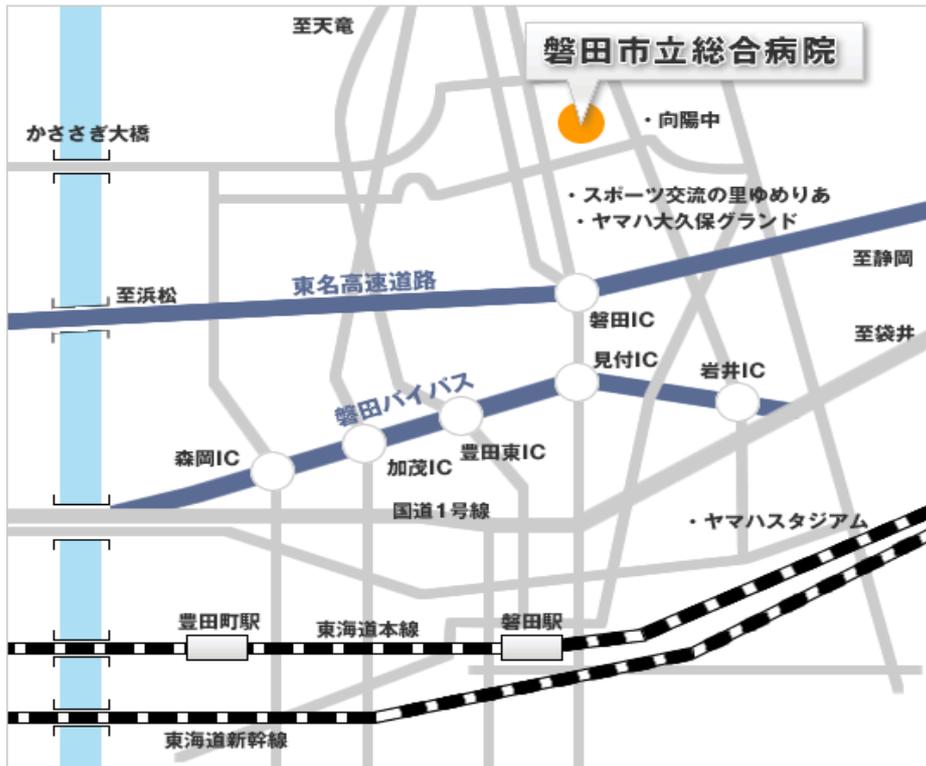
## 会場（磐田市立総合病院）までのアクセス

JR「磐田駅」から遠鉄バス「磐田市立病院行き」で約 25 分

JR「磐田駅」からタクシーで約 20 分

東名高速道路「磐田 I.C」から車で約 7 分

磐田バイパス「見付 I.C」から車で約 10 分



## "ALSOプロバイダーコース in 磐田市立病院 2017" スケジュール

2月18日 (土)	
<b>8:10 AM - 8:30 AM</b>	受付
<b>8:30 AM - 8:45 AM</b>	オープニング
<b>8:45 AM - 9:45 AM (60分)</b>	L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性
<b>9:55 AM - 11:40 AM (105分)</b>	各グループで講義終了後、症例検討 E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例
<b>11:40 AM - 12:40 PM 昼食 (うち30分講義)</b>	F: Labor Dystocia 難産
<b>12:40 PM - 2:00 PM (80分)</b>	全員で講義を受講、講義終了後、各グループでWS H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩
<b>2:10 PM - 3:20 PM (70分)</b>	全員で講義を受講、講義終了後、各グループでWS I: Shoulder Dystocia 肩甲難産
<b>3:30 PM - 4:00 PM (30分)</b>	全員で講義を受講 A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
<b>4:10 PM - 4:40 PM (30分)</b>	全員で講義を受講 C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
<b>4:40 PM - 6:10 PM (90分)</b>	全員で講義を受講、講義終了後、各グループでWS J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血
<b>6:20 PM - 6:30 PM (10分)</b>	第1日目デブリーフィング (講師のみ)
2月19日 (日)	
<b>8:30 AM - 9:30 AM (60分)</b>	全員で講義、各グループでワークステーション (WS) K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生
<b>9:40 AM - 10:30 AM (50分)</b>	全員で講義を受講、講義終了後、各グループでWS G: Malpresentation/Malposition プレゼンテーション異常・ポジション異常
<b>10:40 AM - 0:10 PM (90分)</b>	各グループで講義終了後、症例検討 OB Cases & B: Medical Complications 内科的合併症と症例
<b>0:10 AM - 1:10 PM 昼食 (うち30分講義)</b>	全員で講義を受講 D: Preterm Labor & PROM 早産と前期破水
<b>1:10 PM - 1:25 PM</b>	集合写真撮影
<b>1:25 PM - 2:00 PM (35分)</b>	復習 各グループで
<b>2:00 PM - 2:15 PM クロージング</b>	試験説明
<b>2:15 PM - 4:45 PM</b>	Megadelivery & Written Examination 筆記試験・実技試験 (遠方の受講者から実技試験、合格者から帰宅)
<b>4:45 PM - 5:15 PM</b>	第2日目デブリーフィング (講師のみ)